電子情報工学科大ゼミ(同窓会支援企画)「先輩からのメッセージ」 (社会で活躍する OB/OG から学生の皆さんの将来に向けた提言)

昨年秋の総会では大幅な会則変更(別ページ参照)が認められました。そこで新たに導入されたのが学生会員。これまで卒業生・修了生のものだった同窓会の対象が在学生まで拡大され、本企画も晴れてメンバー間の正式な交流行事となったわけです。さて、昨年度の講師は図らずもグローバル経験豊富な方々となりました。近年、日本が本気で取り組まざるを得なくなった国際化。企業では国内生産→輸出の構図が現地生産・販売へと変化し、海外に出て行かなければジリ貧になるかもしれない難しい状況が伺えます。社会で活躍する皆様にも参考になる話が多いのではないでしょうか。

新本哲夫さん(1971 年卒,経営人材育成コンサルティング)「グローバル化が進展する社会に向け大学で学んでおきたいこと」 --- NEC で計18年の多彩な海外経験の末,現在は企業の海外展開コンサルタントを経営する新本さん.英語の教科書を1000回読んで覚えた英語を携えてアメリカ,中国,アジア各国など21ヶ国に出張・駐在.各国の事情に対応し,人付き合いのドラマを経験しながら業務に苦闘したお話しを伺いました.アメリカでの入札における盗聴,中国の政治戦略など話題の生々しいこと!物事を多角的に捉える複眼思考が困難を打開する秘訣とか!



安田陽さん (1989 年卒, 関西大学)「風力発電と国際規格のおはなし」 ―― 風力発電の研究で国内を牽引, 国際規格化会議にも参加する安田さん. 世界的に見ると風力発電は既に原発の 1/2 の発電量を生んでいるという話には皆びっくり. 日本語が情報鎖国を生む, 日本は環境後進国, 国際規格化は勝ち負けはなく誰でも参加して発言・説得すれば受け入れられる, といった指摘には考えさせられました. 夢を追うのもいいが先ずは目の前を全うすべき, Generalist 対 Specialist どちらを目指すべきか, といったアドバイスや問いかけは学生にも強く印象に残ったはず.



澁谷長史さん(2003 年卒,筑波大学)「若手大学教員奮闘記」 — 本 企画のこれまでの最若手, 澁谷さん. 人工知能を研究しながら学生→助 教に至る様々な体験をご紹介いただきました. 鳥人間サークルでプロペラの流体設計をしたとき電磁気のビオサバール法則が登場して感動, 様々な分野のつながりを実感した逸話や, 授業以外の時間に先生はどこにいるの?授業中に先生が見ているノートは何?, 博士号を取ってどんなキャリアパスがあるの?などなど, 在学生が考えそうな素朴な疑問と回答は若手ならではの初々しさ. 人生で大事なのは「元気」(巨大なフォント)!



伊藤俊彦さん (1975年卒, 日立製作所)「YNUからグローバルに広がる ビジネスチャンス」 — 入社時はオイルショックで仕事がなく, 草むしりか らスタートしたという現同窓副会長の伊藤さん. 当初は英語がやりたくなか ったにも関わらず, 現在は大型産業システムを各国に売り込むグローバル 活動の中心におられます. ハーバードビジネススクール AMP での厳しい 研鑽のお話に加え, アメリカ, 中国, インド, アフリカなど様々な国際展開 において, 英語がないと何もできない, 日本人採用を減らして現地採用を 増やさざるを得ないといった難しい現実もご紹介いただきました.



鈴木扇太さん(1984 年卒、NTT)「豊かなコミュニケーション社会を拓く 光通信技術」 ―― 筆者の直接の先輩で、学生時代は750cc ライダーでもあった鈴木さん. 最近、NTT のネットワーク研究部長に就任されました. まずは昨年の3.11の際のNTT 災害対策本部の苦闘のお話. 太平洋につながる海底光ケーブル6本のうち5本が切れ回線が太い1本で乗り切った、東北は海沿い回線が寸断され内陸回線で凌いだ、などなど. 動画サイトやスマートホンのおかげで光ネットワークは年率 40%増の急成長. 20 年で1000 倍になりそうな勢いだそうです.



洲崎崇之さん (1997 年卒, GE Healthcare)「医療業界の特殊事情とグローバル企業で働く楽しみ」 --- 学生時代は犬に対する磁気刺激を研究した洲崎さん. 外資系医療機器メーカーに入社後は MRI 断層撮影装置を手がけ, 現在は多数の外国人で構成される新製品開発チームの舵取り役: インテグレータとして活躍されています. 海外との電話会議は朝出勤中が多い, 高齢化が進む日本は人口あたりの医療機器が最も充実した国,世界が日本市場を目指して開発いるという話には驚きました. また検診したことがない自分にとっては, MRI の騒音がひどいという話も初耳でした.



三上哲郎さん(1975 年卒,日立電線)「情報通信の波」 — 年度の最後は現同窓会長に締めていただきました.ここでも NTT 在籍時からの多彩なグローバル体験談が登場.金髪美女とのお付き合いを目指して米軍ラジオで培った英語力, NTT アメリカ出向時の NY9.11 で金融データ喪失回避に貢献したクラウドサービス販売,富士山→芸者→日立電線といった「つかみ」テクニックで外国人を魅了したプレゼンスピーチ,遅いインターネット回線は World Wide Waste などなど話が止まりません.人生の成功の秘訣は,人を幸せにする「笑い」と適度な緊張感を保つ「挑戦」!



[番外編] 大学院授業の英語化に向けた特別企画

大ゼミではありませんが、今年 4 月、大学院生向けガイダンスで上記の伊藤さんに再登場いただきました。というのも、昨今の急速な国際化で英語がますます重要になってきたことについて学内で議論・検討を重ねた末、電子情報工学科の大学院組織の一つである電気電子ネットワークコースが修士課程の授業をほぼ完全に英語化する取り組みを本年度から始めたためです。英語の必要性を学生に認識してもらうと共に外向きのコミュニケーション意識を持つよう、伊藤さんから学生たちに強いメッセージを送っていただきました。



本企画の初回,まさに最初の講演でNECの大竹さんに「グローバル!」と語っていただいてから5年が経ちました. 当時も既に十分にその波が感じられましたが,昨今の激変は黒船以来の感もあります. 社会の要請に応じて大学も組織改革,教育改革を進めていますし,同窓会もより実効性のある形に変えようと役員会一同取り組んでいます. 本企画は今後もどんどん続いて参ります. 多くの同窓生の方にホームカミングしていただき,後輩たちへの語りの場を楽しんでいただければ幸いです. 本年度もどうぞよろしくお願いします.

(1985年卒馬場俊彦(本学教員))